

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 - ※1 1回線送電線のため1回線設備容量を記載
 - ※2 1回線故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 - #1 差幹ループ系統のため
 - #2 1回線送電線のため
 - #3 N-1電制適用可能容量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能容量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能容量が変更となる場合があります。
 - (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
 - (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
 - (8) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
 - ※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
 - https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm
 - (9) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
 - (10) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能容量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
 - (11) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方を^{※1}に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
 - * https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryout.html

2023年11月6日 更新

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回数	設備容量 (100%×回数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能容量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
F001	熊坂線	77	2						154kV未満空容量(石川県)1093参照					
F002	鷲岳線	77	2	481	355	熱容量	261	215	可	126	-	-	-	※2
F003	矢地線	77	1	56	56	熱容量	56	56	不可 #2	-	-	-	-	※1
F004	金津線	77	2	175	88	熱容量	88	88	可	87	-	-	-	
F005	丸岡支線	77	2	146	73	熱容量	73	73	可	73	-	-	-	
F006	坂井線	77	1	52	52	熱容量	52	52	不可 #2	-	-	-	-	※1
F007		77	1			熱容量	48	48			-	-	-	◇
F008		77	1			熱容量	56	56			-	-	-	◇
F009	三国線	77	2	175	138	熱容量	82	82	可	37	-	-	-	※2
F010	芦原支線	77	2	175	88	熱容量	44	44	可	87	-	-	-	
F011	臨港三国線	77	2	165	82	熱容量	82	73	不可 #2	-	-	-	-	
F012		77	2			熱容量	88	73			-	-	-	◇
F013		77	1			熱容量	48	48			-	-	-	◇
F014	川西線	77	2	224	173	熱容量	73	73	可	51	-	-	-	※2
F015	福井線	77	2	255	202	熱容量	197	171	可	53	-	-	-	※2
F016	北福井線	77	2	241	193	熱容量	193	171	可	48	-	-	-	※2
F017	西長田線	77	2	175	88	熱容量	88	88	可	87	-	-	-	
F018		77	1			熱容量	48	48			-	-	-	◇
F019		77	1			熱容量	48	48			-	-	-	◇
F020	南福井連絡線	77	2	255	202	熱容量	202	171	可	53	-	-	-	※2
F021	南福井花堂線	77	2	255	202	熱容量	202	171	可	53	-	-	-	※2
F022	橋南線	77	2	175	88	熱容量	88	88	可	87	-	-	-	
F023		77	1			熱容量	30	30			-	-	-	◇
F024	開発北福井線	77	2	224	112	熱容量	112	112	不可 #2	-	-	-	-	
F025	開発線	77	2	224	173	熱容量	173	173	可	51	-	-	-	※2
F026	春江線	77	2	112	56	熱容量	56	56	可	56	-	-	-	
F027		77	2			熱容量	56	56			-	-	-	◇
F028	成和線	77	2	255	188	熱容量	188	181	可	67	-	-	-	※2
F029	東郷支線	77	2	89	45	熱容量	45	45	不可 #2	-	-	-	-	
F030	東福井支線	77	2	175	88	熱容量	88	88	不可 #2	-	-	-	-	
F031	成和花堂線	77	2	255	128	熱容量	128	128	不可 #2	-	-	-	-	
F032	荒土線	77	2	174	109	熱容量	33	33	可	65	-	-	-	※2
F033	山王支線	77	2	112	56	熱容量	54	33	可	56	-	-	-	
F034	西一線(荒土～壁倉分)	77	2	174	109	熱容量	31	31	可	65	-	-	-	※2
F035	西一線(壁倉分岐～西)	77	2	104	73	熱容量	35	31	可	31	-	-	-	※2
F036	猪野口線	77	2	175	88	熱容量	74	31	可	87	-	-	-	
F037		77	1			熱容量	48	31			-	-	-	◇
F038	白峰勝山線	77	1	48	48	熱容量	30	30	不可 #2	-	-	-	-	※1
F039		77	1			熱容量	50	30			-	-	-	◇
F040		77	1			熱容量	43	30			-	-	-	◇
F041		33	1			熱容量	14	14			-	-	-	◇
F042	西勝原連絡線	77	1	52	52	熱容量	44	31	不可 #2	-	-	-	-	※1
F043	西勝原富田線	77	1	35	35	熱容量	35	31	不可 #2	-	-	-	-	※1
F044	上打渡線	77	1	48	48	熱容量	31	31	不可 #2	-	-	-	-	※1
F045	富田線	77	1	86	86	熱容量	59	18	不可 #2	-	-	-	-	※1
F046	五条方線	77	2	86	60	熱容量	5	5	可	26	-	-	-	※2
F047		77	1			熱容量	40	5			-	-	-	◇
F048	西谷線	77	1	48	48	熱容量	26	5	不可 #2	-	-	-	-	※1
F049	雲川支線	77	1	48	48	熱容量	45	5	不可 #2	-	-	-	-	※1
F050	友江線	77	2	174	87	熱容量	18	18	可	87	-	-	-	※2
F051	青島線	77	2	481	241	熱容量	241	196	可	240	-	-	-	
F052	足羽線	77	2	86	43	熱容量	43	43	可	43	-	-	-	
F053	足羽支線	77	2	96	48	熱容量	43	43	可	48	-	-	-	
F054	足羽持越線	22	1	6	6	熱容量	5	5	不可 #2	-	-	-	-	※1
F055	小和清水線	22	1	6	6	熱容量	4	4	不可 #2	-	-	-	-	※1
F056	東郷武生線	77	2	112	82	熱容量	81	81	可	30	-	-	-	※2
F057	鯖江線	77	2	255	128	熱容量	128	128	可	127	-	-	-	
F058		77	2			熱容量	56	56			-	-	-	◇
F059	水落線	77	2	112	56	熱容量	56	56	可	56	-	-	-	
F060	栗田部線	77	2	96	48	熱容量	48	48	可	48	-	-	-	
F061	味真野線	22	1	10	10	熱容量	10	10	不可 #2	-	-	-	-	※1
F062	万葉線	22	1	10	10	熱容量	10	10	不可 #2	-	-	-	-	※1
F063	京福支線	77	2	289	144	熱容量	144	144	可	145	-	-	-	
F064	京福線(西武生～京福)	77	2	175	88	熱容量	88	88	不可 #2	-	-	-	-	
F065	京福線(京福支線分岐～)	77	2	96	48	熱容量	47	47	可	48	-	-	-	
F066	王子保線	77	2	175	88	熱容量	88	88	不可 #2	-	-	-	-	
F067		77	2			熱容量	48	48			-	-	-	◇
F068		77	1			熱容量	48	48			-	-	-	◇
F069		77	2			熱容量	40	40			-	-	-	◇
F070		77	2			熱容量	56	56			-	-	-	◇
F071	吉川線	77	2	175	88	熱容量	88	88	可	87	-	-	-	
F072	西田中支線	77	2	112	56	熱容量	56	56	可	56	-	-	-	
F073	西武生線	77	2	255	128	熱容量	128	128	可	127	-	-	-	
F074	江守線	77	2	255	128	熱容量	128	128	可	127	-	-	-	
F075	神明支線	77	2	175	88	熱容量	88	88	可	87	-	-	-	

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制約の 可能性	平常時出力制約が 必要となる設備		備考
							当該設備	上位系等考 慮				当該設備	上位系設備	
F076	織田線	77	2	112	56	熱容量	52	52	可	56	-	-	-	
F077	蒲生線	22	1	10	10	熱容量	10	10	不可 #2	-	-	-	-	※1
F078	米ノ浦線	22	1	10	10	熱容量	9	9	不可 #2	-	-	-	-	※1
F079	道口線	22	1	10	10	熱容量	10	10	不可 #2	-	-	-	-	※1
F080	道口米ノ線	22	1	10	10	熱容量	10	9	不可 #2	-	-	-	-	※1
F081	四ツ杉支線	22	1	10	10	熱容量	10	10	不可 #2	-	-	-	-	※1
F082	宮崎支線	22	1	10	10	熱容量	10	9	不可 #2	-	-	-	-	※1
F083	白山支線	22	1	10	10	熱容量	8	8	不可 #2	-	-	-	-	※1
F084	東浦線	77	2	481	241	熱容量	228	228	可	240	-	-	-	
F085		77	1			熱容量	48	48			-	-	-	◇
F086	敦賀連絡線	77	2	175	88	熱容量	63	63	可	87	-	-	-	
F087		77	2			熱容量	35	35			-	-	-	◇
F088		77	2			熱容量	1	1			-	-	-	◇
F089	西敦賀線	77	2	175	88	熱容量	88	88	可	87	-	-	-	
F090		77	1			熱容量	48	48			-	-	-	◇
F091		22	1			熱容量					-	-	-	◇
F092	富田支線	77	1	48	48	熱容量	48	18	不可 #2	-	-	-	-	※1
F093	道口村田支線	22	1	10	10	熱容量	10	10	不可 #2	-	-	-	-	
F094	中福井線	77	2	59	30	熱容量	30	30	不可 #2	-	-	-	-	
F095	春山線	77	2	72	36	熱容量	36	36	不可 #2	-	-	-	-	
F096	壁倉線	77	2	278	139	熱容量	113	31	不可 #2	-	-	-	-	